

のも一法である。

私は Zeiss が一時公表していた LAU 博士のダブル顕微鏡と大体同様の原理によって、*A. pellucida* の条線が 5mm に 4 本ぐらいに見えるものを臨時に組立てて実験してみたが、ある場合には十分に実用になることを経験している。しかしそれを実施できるように書くにはいろいろの光学的説明が多くなって、そこまで書く紙面もないし、藻類そのものから余りにかけ離れた説明になるので、ここには省略するが、珪藻の研究には顕微鏡の効果的な扱い方が成果にかなり影響して来ると言うことだけを付記して置く。

(神奈川県立外語短期大学)

学 会 録 事

山田幸男博士追悼号の原稿募集について

さきに「藻類」23巻4号でお知らせ致しましたように、日本藻類学会名誉会長、故山田幸男博士の多年にわたる藻類学会への貢献を記念するために、本誌25巻の特別号として「山田幸男博士追悼号」を発刊することが昭和50年11月1日の総会において決定され、その刊行実行委員会が設けられました。会員の多くの方々へ寄稿をお願いします。

追悼号の内容は藻類に関する原著論文、総説など(和文・欧文のいずれにても可)とし、図・表・摘要・文献を含めて印刷6頁を限度とします。その他原稿作製上の注意は藻類23巻1号の投稿の注意に準じますが、別刷費用はすべて著者負担とします。発刊予定は昭和52年8月、原稿締切は昭和51年10月31日です。なお寄稿御希望の方は経費の見積り等準備の都合もありますので、論文の表題(あるいは寄稿の意志だけでも結構です)を前以て刊行実行委員会へお知らせ下さい。

この追悼号の発行経費は学会の一般会計とは別とし、すべて会員その他のの方々へ寄付によってまかなわれます。この件については費用の見積りが出来た後に改めてお願いする予定です。

連絡および原稿送付先 〒060 札幌市北区北10条西8丁目 北海道大学理学部
植物学教室内 山田幸男博士追悼号刊行実行委員会 委員長 黒木 宗 尚

会費納入についてお願い

1. 先般、本誌24巻4号(165頁)でお知らせしましたように、今年度から普通会員会費は3000円(学生会員は半額)、外国会員会費は4000円、団体会員(大学・研究所・図書館や書店などの企業体)は4000円になりました。
2. 会費は前納制になっております。なるべく早目に、必ず振替で送金して下さい。